

船引臼太鼓踊り 保存会に助成金

明治安田の文化財団

地域の伝統文化継承を支援しようと、公益財団法人・明治安田クオリティオブライフ文化財団（東京）は、宮崎市清武町の船引臼太鼓踊り保存会（20人）に助成金52万円を贈った＝写真。

贈呈式は同市の明治安田生命保険（東京）宮崎支社で10日にあり、山本修司支社長



(52)が「地域に根差した社会貢献活動を継続し、伝統文化が維持されるよう支援していく」とあいさつ。保存会の田代直秋会長(51)は「新メンバ

ーが5人入り、衣装をどうしようか苦労していた。これからも若い人たちにつなげたい」と感謝した。衣装は1着が11万円という。

同踊りは市の無形民俗文化財に指定されており、牛馬息災などを祈って、首にかけた太鼓をたたきながら勇壮に踊る神事。なぎなたを模した飾りも背負い、総重量は10kgほどになる。

同財団によると、本年度164件の応募があり、56件を採択。計2800万円を助成した。